

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和5(2023)年9月6日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「今年も暦の上では3分の2が終了した。今年は特にコロナ明けということもあり、慌ただしかったような感覚である。本部長、警務部長も交代し、6月の全国植樹祭からまだ3か月しか経っていないが、はるか昔のように感じる。その後も猛暑の中、盛岡市長選挙、岩手県知事選挙と続いたが、ようやく一段落付いたかなという感じである。ただその間にも、様々な事件が発生している。この秋は、公安委員として業務・服務監察で県内各警察署に行く機会も多いので、この機会を利用して、現場の声を聞き取って、県警察の活動の参考にしていただければと思います。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 令和5年度9月補正予算概要について

警察本部から、「県議会9月定例会に提案する補正予算の概要であるが、警察費の補正額については、総額で255万円余の増額である。その主な内容について、まず、警察行政運営費についてであるが、警察官の職務に協力援助した殉難者の遺族に対する遺族給付年金の対象事案が発生したことから、年金支給に伴う所要額について補正するものである。次に、自動車等維持費についてであるが、国費で配分される車両台数が確定したことに伴う新車登録経費及び現在使用している車両の継続車検に係る経費について補正するものである。最後に、交通警察費についてであるが、交通安全教育機材である運転者疑似体験型集合教育装置のリース経費について補正するものである。」旨の報告があった。

○ 東北管区警察局による監察の実施結果について

警察本部から、「監察実施項目は、地域警察における業務管理の推進状況であり、警察本部生活安全全部地域課、大船渡警察署、釜石警察署管内の交番が受監した。地域課、大船渡警察署については、指摘・指導事項はなかったが、交番の監察において、勤務中の警察官の装備品の着装及び書類の管理について指導・助言を受けている。なお、指導を受けた点については、本部地域課において、県内各署に対して指示したうえ、執務資料を発出して周知しているほか、主管課である警務課においても執務資料を発出し、装備品の適正な

着装について指導することとしており、今後、関係課で実施する業務指導及び監察課で実施する交番・駐在所の監察等で履行状況を確認していく。さらに、書類の管理等についても、関係主管課と連携を図りながら、同様に指導していく。」旨の報告があった。

《 委員質疑 》

「交番の勤務状況及び管理状況はどうだったのか。」

→本部説明

「交番所長以下、複数の勤務員が勤務していた。交番所長の管理が徹底されていないということであり、適切に指導・管理すべきであった。」

【交通部議題】

○ 「岩手県警察交通安全広報コンクール」の実施について

警察本部から、「年間の交通事故抑止対策である「2023交通死亡事故抑止重点対策」における推進事項の一つとして、高齢者の交通事故抑止対策を掲げ、各警察署において必要な人に必要な情報が届く取組を推進中である。今般、高齢者の視覚に訴える、分かりやすい内容の広報用チラシの作成を通じて、より効果的な交通安全活動の推進を図るとともに、特に若手警察官が、コンクールへの参加を通じて、交通部門の業務により関心を持ってもらうことを目的に「岩手県警察交通安全広報コンクール」を実施したものである。募集期間は8月中とし、警察官、一般職員、会計年度任用職員を問わず全職員を対象に、高齢者の交通事故防止に関することをテーマとし、「高齢歩行者の交通事故防止」「高齢ドライバーの交通事故防止」の2つの部門について、作品を募集した。今後、交通部各所属長のほか、老人クラブ連合会や交通安全協会等にも協力をいただき審査を行い、表彰を行うこととしているが、公安委員にも審査していただきたいと考えている。なお、優秀作品については、秋季以降の交通安全対策において、在宅訪問活動等での配布チラシとして活用する予定である。」旨の報告があった。

■個別会議

○ 交通機動隊

第53回県下白バイ安全運転競技大会における公安委員会委員の対応に関する説明、決裁

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 総務課

県下警察署長会議における公安委員会委員長の対応に関する説明、決裁

公安委員会あて苦情の処理及び受理についての説明、決裁

国家公安委員会あて文書の受理・処理についての説明、決裁